

事項	ぶどう「サニールージュ」のジベレリン処理は2回から1回に削減できる		
ねらい	「サニールージュ」は無核化及び果実肥大促進のためジベレリン処理が必須であり、現在満開時と満開10日後の2回処理を指導している。ホルクロールフェニユロン液剤（フルメット液剤）を加用したジベレリンの1回処理について検討したところ、果形はやや円形となるものの、果実品質は同等であったため参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 ジベレリンにホルクロールフェニユロン液剤を加用すると、従来のジベレリン2回処理のものとは比べ、処理回数1回で確実に無核化され果実肥大も促進される。なお、果粒はやや円形となり、着粒密度が高くなる。</p> <p>2 使用方法  (1) 処理時期：満開3日後  ※「サニールージュ」は花冠が離脱しにくいいため、花穂のほぼ全体の花冠色が淡褐色になった時を「満開日」とする。  (2) 薬液作成：25ppmのジベレリン薬液に10ppmのホルクロールフェニユロン液剤（10ml/l）を加用する。  (3) 処理方法：カップに入れた薬液に花房を浸漬する。薬液中で2～3回果房を振り回し浸透を良くする。</p> <p>3 ホルクロールフェニユロン液剤の農薬登録内容：ぶどう（巨峰系4倍体品種）  使用目的：無種子化、果粒肥大促進  使用濃度：ホルクロールフェニユロン10ppm  使用時期：満開3～5日後（落花期）  本剤の使用回数：1回（但し降雨時等により再処理を行う場合は合計2回以内）  使用方法：ジベレリンに加用花房浸漬</p>		
期待される効果	ジベレリン処理作業が軽減される。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成20年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」（<a href="http://www.maff.go.jp/nouyaku/">http://www.maff.go.jp/nouyaku/</a>）を確認すること。</p> <p>3 着粒過多になりやすいので摘粒を適切に行う。</p>		
担当部署（担当者名）	青森県農林総合センターりんご試験場 栽培部（菊池一郎、川嶋浩三） 青森県東青地域県民局地域農林水産部普及指導室（鎌田龍司） 青森県中南地域県民局地域農林水産部普及指導室（三上道彦） 青森県三八地域県民局地域農林水産部普及指導室（工藤秀樹、港大輔） 青森県西北地域県民局地域農林水産部普及指導室（杉田誠一）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19年度 青森県農林総合センターりんご試験場試験研究成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 露地栽培におけるジベレリン処理回数の違いによる果実品質

(平成19年 西北普及指導室、中南普及指導室、青森農林総研りんご試)

調査地点	処理回数	処理数 (果房)	果房重 (g)	粒数	1粒重 (g)	着粒密度	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	着色	無核率 (%)
鶴田町	1回	6	438	62.7	6.5g	4.5	14.8	0.44	2.0	100
	2回	6	313	44.0	6.9	3.2	15.6	0.48	2.0	100
弘前市	1回	6	560	57.4	9.4	3.8	16.3	0.59	3.0	100
	2回	6	577	60.9	9.1	3.4	15.7	0.59	2.5	100
りんご試	1回	20	418	48.4	8.4	3.5	18.0	0.52	3.0	100
両側整枝	2回	20	367	42.9	8.3	3.0	17.6	0.57	2.0	100
りんご試	1回	20	349	40.5	8.5	3.1	18.2	0.48	3.0	100
片側整枝	2回	20	399	44.6	8.8	3.3	18.1	0.52	3.0	100

(注) 1回処理：ジベレリン25ppm+ホルクロールフェニユロン10ppmを満開3日後に処理

2回処理：ジベレリン25ppmを満開時と満開10日後に処理

供試数：鶴田町、弘前市は6果房、りんご試は20果房

着粒密度：粒数/果房長、着色指数：全面着色；3、2/3程度着色；2、1/2以下の着色；1

栽培管理：指導要項に準じる（開花前の新しょう摘心実施）

表2 露地栽培におけるジベレリン処理回数の違いによる果実品質

(平成16～19年 青森農林総研りんご試)

調査地点	処理回数	処理数 (果房)	果房重 (g)	粒数	1粒重 (g)	着粒密度	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	着色	無核率 (%)
平成16	1回	20	385	52.2	7.2	3.6	18.3	0.53	-	100
	2回	20	402	51.8	7.6	3.4	18.7	0.53	-	100
平成17	1回	10	412	59.7	6.8	4.1	17.5	0.48	2.7	100
	2回	10	442	67.4	6.4	4.3	17.6	0.47	2.5	100
平成18	1回	20	596	60.1	8.9	4.0	16.9	0.58	1.8	100
	2回	20	522	63.3	8.1	4.2	17.1	0.51	2.1	100
平成19	1回	20	418	48.4	8.3	3.5	18.0	0.52	3.0	100
	2回	20	367	42.9	8.3	3.0	17.6	0.57	2.0	100

(注) 表1に準ずる（平成18年は開花前の摘心を省略）

表3 無加温ハウス栽培におけるジベレリン処理回数の違いによる果実品質

(平成19年 三八普及指導室、東青普及指導室、青森農林総研りんご試)

調査地点	処理回数	処理数 (果房)	果房重 (g)	粒数	1粒重 (g)	着粒密度	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	着色	無核率 (%)
南部町	1回	6	367	56.3	6.3	3.7	15.6	0.48	2.8	100
	2回	6	346	57.3	5.9	3.7	16.6	0.50	3.0	100
青森市	1回	6	278	55.7	4.8	4.2	17.2	0.47	2.5	100
	2回	6	218	45.0	4.7	3.2	17.1	0.47	2.2	100
りんご試	1回	12	322	53.1	5.9	4.0	18.5	0.59	3.0	100
	2回	12	305	51.0	5.8	3.6	18.5	0.59	3.0	100

(注) 表1に準ずる

(参考) ジベレリン 約 50円/1ℓ  
ホルクロールフェニユロン（フルメット） 約1,500円/1ℓ